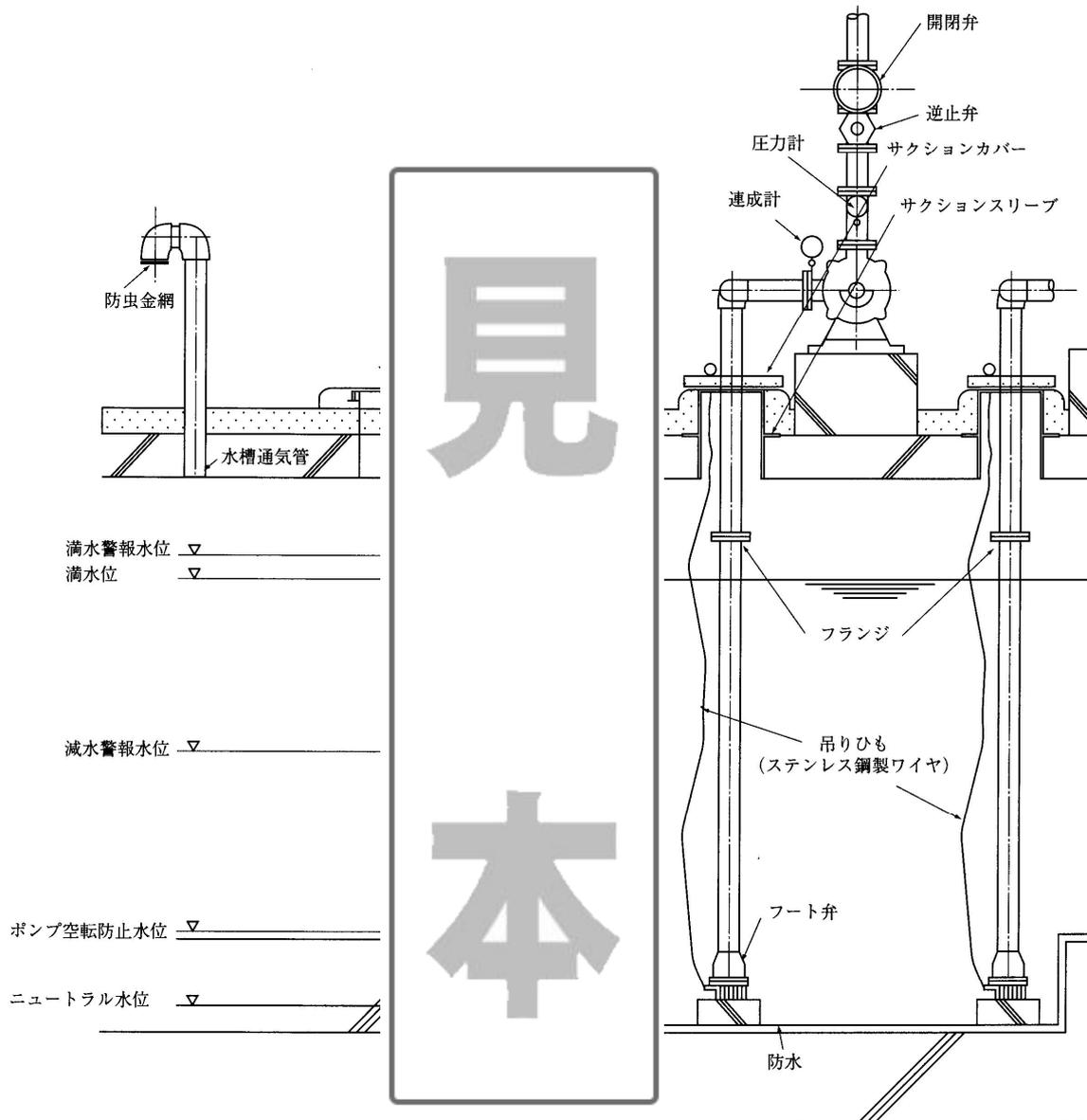


施工方法



留意事項

- ① 中水・雨水の処理槽の場合には、減水警報水位はできるだけ下げる。
- ② 床開口はフート弁の引抜きを考慮し、フート弁最大幅より 50mm 以上の余裕をもたせる。
- ③ 床開口は床上より 100mm 程度立ち上げ、床面の水が槽内に流入するのを防ぐ。
- ④ 吸上げ管の槽内部分は腐食を考慮し、樹脂管・外面ライニング管などを使用する。なお、樹脂管の場合はフート弁の重さおよび流れによる振動など十分耐えられるものとする。
- ⑤ 吸込み管の水平部は 1/50~1/100 の先上り勾配をとることが望ましい。

- ⑥ 吸込み管の横引きは、できるだけ短くする。
- ⑦ 吸込み管、電極棒、ボールタップ等は、点検が容易にできるように、マンホールの近くに設ける。
- ⑧ フート弁まわりには、水の円滑な吸込み障害を生じないように、十分なスペースを確保する。
- ⑨ サクション管には、取りはずしに便利のように、引抜き高さを考慮してフランジを挿入する。

見

本